

無情

作詞 J'Soul (浅羽一)

きっと純愛や理想なんて欲望に抱かれて壊れてく
ずっと変わらない言葉なんてこの時代本気も嘘くさい
愛を信じてる物語^{ドラマ}なんて『作り物』だからさ泣けるのは
愛を叫んでも現実では正直者ばかり馬鹿を見る
自分の全てで誓っても十分の一も届かない
黄昏れてく人は夕日に頬を染めるのに
無情の慰めに浮き世の意味を知るよ } ■
刹那の切なさに本当の愛を見たよ

ぐっと握り込む^{こぶし}拳なんて使い道もなく錆びていく
ぺっと目の前に唾を吐いて自分の靴ばかり汚してく
夢を語ってる人を見つけ出直して来いよとほざいてる
見えぬ未来から瞳逸らしたまた夢物語描いてる
命^かまで懸けて愛しても正気の沙汰と思われない
愛情は淋しく狂気の道^{たど}を辿るのか
甘えた真剣にふざけた日々も酔うよ
誰も愛せずに誰かの愛を待つよ

心の鏡を自分で覗いて映る何かと目を合わせられるのか
シェーク・スピアがあので綴ったよ『この世の虚しさ儚さ』を
だからさ俺はこの世で歌ったよ『この世のまだ見ぬ愛しさ』を

■繰り返し

非常の選択に生きてく重さ抱くよ
それでも変えられぬ愛しさそれが『愛』よ